

ネイティブ スタフィロコッカス アウレウス スフィンゴミエリナーゼ

Cat. No. NATE-0673

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼは、スフィンゴ脂質代謝反応に関与する加水分解酵素です。SMaseはDNase Iスーパーファミリーの酵素の一員であり、スフィンゴミエリン (SM) をホスホコリンとセラミドに分解する役割を担っています。SMaseの活性化は、細胞ストレスに起因したセラミドの生成の主要な経路として提案されています。

別名 スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼ; EC 3.1.4.12; 中性スフィンゴミエリナーゼ; 9031-54-3; スフィンゴミエリンコリンホスホヒドラーゼ; スフィンゴミエリナーゼ; SMase

製品情報

由来 黄色ブドウ球菌

形態 緩衝された水性グリセロール溶液; 0.25 Mリン酸緩衝液を含む50%グリセロールの溶液、pH 7.5

EC番号 EC 3.1.4.12

CAS登録番号 9031-54-3

活性 100-300 ユニット/mg タンパク質 (Lowry)

単位定義 1ユニットは、37°CでpH 7.4の条件下で1分あたり1.0 μmolのTNPAL-スフィンゴミエリンを加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C